

第1節 よこはま人

交際上手カルチャー族



世話好きで人望もあり、サークル活動や町内会の行事などで、リーダーに推されることもしばしば。近所には家族ぐるみでつきあっている家があり、親類とのつきあひもそつなくこなす。最近では、カルチャーセンターで知り合った友人も多い、交際上手である。

根本的に几帳面で常識的。家のなかで散らかっていたり、服装がだらしないのは他人のことでも気になってしまう。家事もこまごまとやり、手を抜かない。特に、食事には気を使っており、TVの料理番組を見て、月に1度は新しい料理に挑戦してみる。また、料理を盛る器にも凝るほう。

ただ、カロリーには気を使っており、好きな食べ物を我慢したり、健康食品を利用したりしている。

子育ても一段落し、これからは自分の生活を充実していこうという積極派。

交の衣食住

- 衣：着こなしには、これでもけっこううるさい。
- 食：TVの料理番組をよく見て、新しい料理に挑戦してみる。  
生鮮食品は高くても、鮮度の良いものを買う。
- 住：模様がえをするのが好き。
- 医：健康のために、好きな食べ物を我慢している。健康食品も使う。
- 遊：カルチャーセンターや教養講座には、積極的に行く。
- 買：保存のきく食品や日用品はまとめ買いをしておくので、急に足りなくなってコンビニエンスストアに行くことはない。
- 交：近所に、家族ぐるみでつきあっている家がある。  
町内会の行事はよく参加する。
- 情：地域情報に詳しい。

交と横浜

- 市政への評価：かなり満足している。毎日通る道が整備されたのが嬉しい。公園整備、生涯学習の機会提供も以前に比べ、良くなった。
- 市政への要望：一番の希望は老人ホームなどの高齢者対策。福祉対策や地震などの災害対策も、しっかりやってほしい。
- 定住意識：現在の住まいからどこかへ移ることは、まずないと思う。  
というのは、長年住み慣れているうえ、地域の人たちとのつきあひが楽しいから。
- 横浜のイメージ：先進的で活気がある、将来性の高い都市、というイメージをもっている。
- 次代に伝えたい横浜の姿：福祉のいきとどいた思いやりのある街。

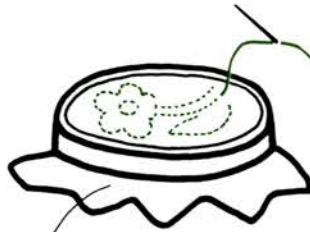
# CASE STUDY



## フェイスシート

50代女性  
夫婦のみ  
専業主婦  
横浜生まれ  
戸建て 持ち家  
東海道・横須賀線沿線在住

よこはま市民生活白書'88 ⑦【第一章】くらし



手芸が好き。

TVは「徹子の部屋」が好き。

「日曜劇場」やNHKの朝のドラマもよく見る。

タンゴやシャンソンが好き。  
コーラスのグループに入っている。

カルチャーセンターで知り合った友人も多い。

他に「主婦の友」など女性週刊誌はよく読む。



## フェイスシート

40代女性  
夫と子ども2人  
パート  
市内在住26年  
戸建て 持ち家  
相鉄線沿線在住

料理が好きで、料理番組をよく見る。おいしいような料理はさっそくつくってみる。

好きな音楽は演歌。  
石川さゆりを口づさむ。

最近、ダンス教室に通いはじめた。

広報よこはまや、市民グラフは毎号読む。

園芸が趣味。

